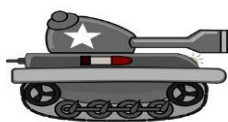


JSA埼玉支部・公開講演会

今こそ、科学は平和のために —日本学術会議新声明の意義—



お話し：浜田盛久さん(海洋研究開発機構・研究員)

安倍自公政権は2013年に閣議決定した国家安全保障戦略と防衛大綱で、産官学の力を結集して軍事技術開発を促進、大学や研究機関と連携し「防衛にも役立つ民生技術の積極的な活用」を打ち出し、武器輸出3原則を廃止し「防衛装備移転三原則」を閣議決定、さらに多くの憲法学者や国民の反対を押し切って「戦争法」を強行採決しました。防衛省は2015年、防衛装備開発のための基礎研究として大学などへの委託研究を目的として「安全保障技術研究推進制度」を発足させ、初年度3億円、昨年度6億円、そして今年度は110億円を計上しました。一方、日本の科学者を代表する機関である日本学術会議は、「戦争のための研究はしない」という半世紀前の決議を今日的に再確認する声明を決定し、発出しました。これらの政府や財界のねらいが大学教育や学問研究、そして市民生活にどのような影響を及ぼすのか、そしてこの流れを押し返すにはどうしたらよいか、ご一緒に考えてみませんか？

日時：2017年6月11日(日)13時30分～15時30分

場所：埼玉会館(埼玉県庁前)5D会議室

会員でない方も大歓迎です(参加は無料です)



(県立図書館は解体中です)

○問合せ先：日本科学者会議(JSA)埼玉支部 事務局長 丹生(にう)

携帯：090-6012-8807